

ふくし

題字 / 日展会友 井野吟紅氏

第102号

令和元年7月1日

南部デイサービスセンターでの交流会の様子。この日は、お隣の南部保育園から、らいおん組の園児たちが加わりお誕生日会を行いました。世代を超えた交流を楽しむことができました♪

(南部デイサービスセンターについて詳しくはP.6)

平成
30年度

事業報告

1 高齢者・障がい者・子どもを含む包括的な支援

高浜市が進めている地域特性に応じた「たかはま版地域包括ケアシステム」の構築について、本会では高齢者、障がい者、子どもを始めとする全ての人が住み慣れた高浜で安心して暮らしていけるまちづくりの推進において、その一端を担えるよう努めてきました。

コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）が地域に訪問することで、地域ニーズを把握し、そのニーズに即した発掘等社会資源の開発やネットワーク化などに努めました。

2 日常生活における困りごと対応力の強化

総合相談窓口である「いきいき広場」の機能の一つとしての役割をしっかりと果たすために、「生活困窮者自立支援事業」では、相談者が日常的な生活を自らの力で維持できるように、各種関係機関と連携した支援を行いました。また、「権利擁護支援センター事業」では、窓口の対応をする職員に対する研修会の開催等により、窓口で相談者の尊厳や人権が侵されることのない支援となるように努めました。

3 ボランティア活動の推進

市内で活動されているボランティア活動のさらなる推進を図るため、ボランティア活動者の発掘、参加促進に努めるとともに、情報交換や共有を行いボランティア同士のつながりを強められるよう井戸端会議を開催しました。

また、市内宅老所のボランティア拡充のため、食事作りボランティア体験講座などを行い、新たなボランティアの発掘を行いました。

4 子育て支援事業の推進

本会が運営する保育園、子育て支援センター、中央児童センター、中央児童クラブ、家庭的保育等の子育て支援施設が、保健センターやこども発達センター等各種関係機関との連携を図り、安心して子育てができる環境整備に努めました。

5 障がい者の地域生活支援づくり

平成30年度から障害者地域自立支援協議会に新たに設置した「地域生活支援拠点部会」で、障がい者の24時間365日の相談支援体制や緊急時の受け入れの現状と課題などについて意見交換をしました。令和2年度設置に向けて具体的に検討していくことになりました。

6 高齢者への在宅福祉サービスの充実

要支援者等の方に対する効果的かつ効率的な支援等を目指す「介護予防・日常生活支援総合事業」を、南部デイサービスセンターでも実施することで、要支援者等の方に対する支援の拡充に努めました。

また、本会は子どもから高齢者、障がい者も含め、誰もがともに、いきいきと暮らせるように、在宅老所や、ふれあいサロンの運営を行うとともに、地域のボランティアの協力を得て、地域に密着した形で気軽に来れる居場所として、地域共生型施設の運営にも努めました。

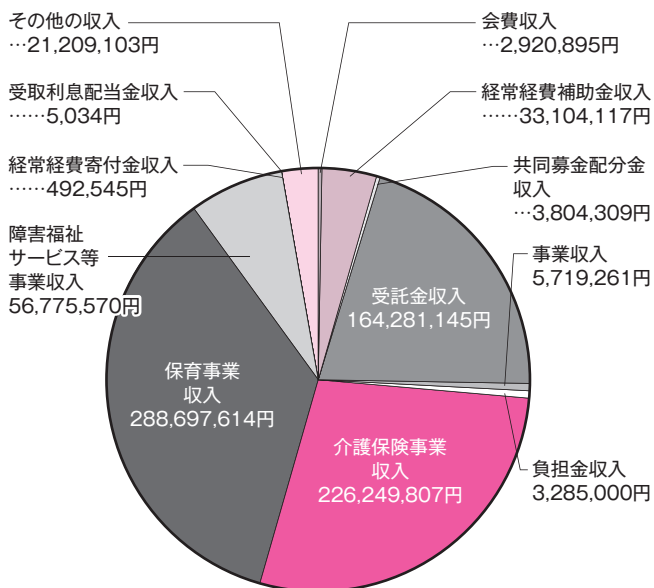
7 法人内連携の強化・人材の育成

法人内の人材育成として、法人の新人職員研修や、介護職への介護現場の利用者への虐待防止等の研修を行い、本会の使命を組織全体、全職員で取り組めるよう体制整備に努めました。

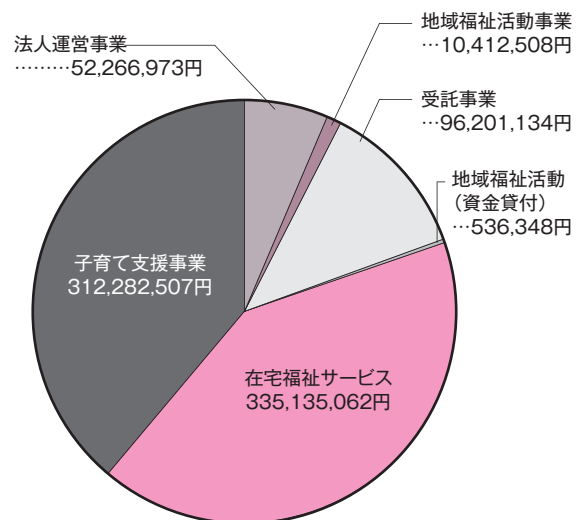
平成30年度 資金収支決算

(事業活動における収支)

収入



支出



第10回 WAKU WAKU FESTIVAL in TAKAHAMA 2019

高浜市わくわくフェスティバル

◆開催日 / 11月3日(日) ◆場所 / 高浜市いきいき広場一帯

今年のテーマは

つながりの輪は∞ (無限大)

～ 令和に引き継げ話・輪・和 ～

わくわくフェスティバルは、現代で希薄になりがちな「人と人とのつながり」をつくり、広げ、この高浜市に根付かせ、誰もが安心して生活できるまちづくりにつながるように、実施します！

実行委員長のメッセージ



高桑 雄司

(高浜市社会福祉協議会副会長)

わくわくフェスティバルは、今年で10回目の開催となります。毎年多くの方のご参加ありがとうございます。

わくわくフェスティバルは、市内で活躍されているボランティア団体、福祉団体、社会福祉施設等が、自分達の活動を生かした、楽しく福祉に「つながれる」ブースをもうけています。

また、実行委員会でも、みなさんが楽しみながら、「つながり」をつくれる企画を計画中です。ぜひ、みなさま、家族、友人をお誘いのうえ、ご参加ください。

出展者説明会開催！ 7月25日(木) 午前10時～ いきいき広場2階ホール

わくわくフェスティバルの出展を希望される方に向けての説明会を行います。出展を希望される方は、ご参加をお願いします。(詳細は8ページをご覧ください。)

わくわくフェスティバル ボランティア募集！ 活動予定日：11月2日(土)準備、11月3日(日)イベント当日

わくわくフェスティバルと一緒に盛り上げてくださるボランティアを募集します。はじめての方でも大丈夫！お気軽にご参加ください。



写真ボランティア

わくわくフェスティバルの様子を写真撮影してくださる方を募集します。趣味でカメラを楽しんでいる方、この機会にその腕前をボランティアに活かしてみませんか？

その他には、当日「ベルマーク」「使用済み切手」「書き損じはがき」を持ってきていただく収集ボランティア、「バザーの準備」等があります。

活動内容 (一部紹介)



着ぐるみ

イベントを盛り上げるのに欠かせない着ぐるみを着てくださる方を募集します。男性女性問わず、活動しやすいよう、着用時間には配慮させていただきます。

詳しくは、高浜市わくわくフェスティバル実行委員会事務局へ Tel. 0566-52-2002まで



みんなで権利擁護を考えよう!

権利擁護と消費者被害

～詐欺の最新手口～

前は、消費者被害とは何かということをお伝えしました。今回は、最近ニュースでも取り上げている最新の詐欺手口を2つご紹介します。

【手口1：改元に伴う詐欺】

ある日突然、電話がかかってきて…



偽金融機関
職員

改元で元号が変わるので、キャッシュカードの交換が必要です。職員が伺いますので、キャッシュカードを用意しておいて下さい。

元号が変わるから、色々あるのかも。



キャッシュカードを渡し、暗証番号を伝えてしまい預貯金が奪われる。

トラブル防止のポイント!

全国銀行協会や銀行員、公共機関が暗証番号を聞くことはありません。不審に思ったら金融機関に確認してみましょう。



【手口2：アポ電詐欺】

ある日突然、電話がかかってきて…



偽息子

電話番号が変わったから登録してほしい。前の携帯電話は使えなくなる。

電話番号を書き換えておこう。



会社のお金を使ってしまった。今、家にいくらある?なるべく早く取りに行くから今週の予定を教えて。

△曜日はお父さんという。
○曜日は私一人だよ。



後日、一人の時を狙われて強盗被害に遭う可能性がある。場合によっては身体、生命の危険もある。

トラブル防止のポイント!

家族に確認をするか、息子の以前の電話番号にかけて確かめてみましょう。また不審な電話がかかってきた場合は、住所、氏名等の個人情報や現金等の保管状況は絶対答えず、直ちに警察へ連絡してください。

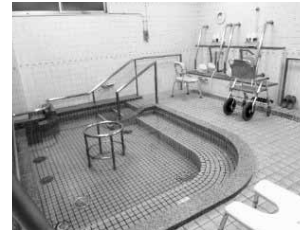


もしも、被害に遭われた場合は、碧南警察署 (0566-46-0110) にご相談下さい。

南部デイサービスセンター

田戸町にある南部デイサービスセンターは、高齢者・障がい者の両方が利用可能な施設です。

併設している高浜南部保育園の園児との交流会を毎月行っており、子どもたちとのふれあいも楽しむことができます。



サービス内容

送迎…ご自宅まで送り迎えいたします。
 健康管理…血圧・体温の測定をします。
 入浴…大浴場・機械浴など体に合わせた入浴方法を提案します。
 食…飲み込みに合わせた食事形態で提供します。
 レクリエーション…体を動かしたり歌を歌ったり、園児と遊んだりします



◇PRポイント◇

● 楽しい外出活動 ●

桜の季節には、大
山公園でお花見

海沿いの堤防で
散歩



● 子どもたちと楽しい交流活動 ●

保育園のかわいい子どもたちと毎月交流をしています。お誕生日のお祝いや、発表会をしてくれます。



● 機能維持のための様々な活動 ●

季節に合った作品を、利用者さん同士で分担しながら作ります。

他にも体操やボランティアの方による様々な活動もあります。

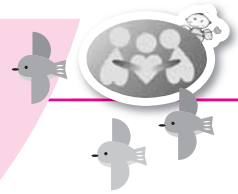


- ・スタッフ全員が「介護福祉士」または「看護師」の資格を保有しています。
- ・施設見学・お試し利用はいつでも可能です。お気軽にのぞいてください！

ご利用方法や費用等について、お気軽にご相談下さい。

【問合せ先】南部デイサービスセンター（高浜市田戸町三丁目5番地26）
 電話（0566）54-0282





令和元年度

碧海5市災害ボランティアコーディネーター養成講座

今後発生すると言われている南海トラフ巨大地震や、その他の自然災害への備えが急務です。また、被災した時には近隣市間での連携が必要不可欠です。

そこで、碧海5市の社会福祉協議会では、協働で災害ボランティアコーディネーターを育成し、被災時や復興支援時における地域の困りごとに対応でき、広域で助け合うこともできる体制をめざして、碧海5市災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。

『災害ボランティアコーディネーター』とは

大災害が起こった時、各地から駆け付けるボランティアに対応するため、「災害ボランティアセンター」が開設されます。そこで、被災者の困りごととボランティアを結ぶ調整役となり、センター運営のお手伝いをするのが、『災害ボランティアコーディネーター』です。

日時・会場 2日間コース（2日間の内容全てを受講された方に修了証をお渡しします）

7月27日（土） 10:00～16:00 へきなん福祉センターあいくる 2階デイルーム

■公開講座「愛知県における多文化防災 ～日本人と外国人が、共に災害を乗り越えるために～」

時間：10:00～12:00

講師：愛知県民文化局社会活動推進課多文化共生推進室 室長補佐 各務 元浩 氏

※公開講座のみのご参加も可能です

■災害ボランティアセンターの設置・運営について

■各地の災害ボランティアセンターについて 講師：刈谷防災ボランティア 山下 克昭 氏

■災害ボランティアセンターの流れについて学ぶ

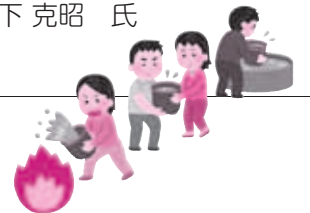
7月28日（日） 10:00～16:00 へきなん福祉センターあいくる 2階デイルーム

■災害ボランティアセンター模擬演習 講師：刈谷防災ボランティア 山下 克昭 氏

■ワークショップ&交流会

■対象 碧海5市（碧南・刈谷・安城・知立・高浜）在住・在学・在勤の方

■定員 80名程度 ■申込期間 7月19日（金）まで ■受講料 無料



問合せ・申込み

高浜市社会福祉協議会 ボランティアひろばセンター てとてとて
高浜市春日町5-165 高浜市いきいき広場3階
電話0566-52-9882 Fax0566-52-4100 Mail info@takahama-shakyo.or.jp

～親子でクッキング体験をしよう～ 参加者募集!!

みんなで楽しみながら
おやつ作りを体験しましょう。

日時：8月18日（日） 受付 9時00～ 場所：いきいき広場3階クッキングスタジオ

参加費：1,000円で15組の親子を募集します。メニュー：おにぎらず・おやつ2種

詳しくは社会福祉協議会事務局までお問合せください。 電話（0566）52-2002



募集

令和元年度 高浜市わくわくフェスティバル 出展者説明会

11月3日(日)に、今年も高浜市わくわくフェスティバルを開催します。
それにあたり、出展を希望する方への説明会を開催します。
出展していただくにあたっての必要事項、諸注意などを説明します。
昨年は、63団体の方が出展していただきました。今年も、多くの方の出展をお待ちしております。

日 時	7月25日(木) 10:00~11:00
場 所	いきいき広場 2階 いきいきホール
備 考	説明会において、参加申込書を配布させていただきます。 この参加申請書を8月13日(火)までに提出をお願いします。 ※出展を希望される方で、説明会に参加できない場合は、 下記までご連絡ください。

お申込・お問合せは、高浜市社会福祉協議会まで
電話：0566-52-2002 F A X：0566-52-4100 担当/野田

令和元年度 生活支援員養成講座 * * * * *

生活支援員とは、認知症や物忘れのある高齢者、知的障がい者・精神障がい者などの方が地域で安心して暮らしていくことができるよう、福祉サービスの利用援助・金銭管理・書類預かりなど日常生活を支援する活動をしていただく方です。

生活支援員については、まだまだ知られていないのが現状です。

そこで、生活支援員についてもっともっと知っていただき、その活動の担い手となっていただくための講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。

日 時：8月26日(月) 13:30~16:15 (受講された方に修了証をお渡しします。)

場 所：いきいき広場1階 会議室A

申込期間：7月1日(月)~8月16日(金)まで

講座
内容

権利擁護支援センターより「権利擁護と生活支援員派遣制度」について説明します。その後、認知症や知的障がい及び精神障がいについて専門職の説明があり、生活支援員の役割を学びます。また、現在活動されている生活支援員から支援の現状を話してもらい、生活支援員の活動をお伝えします。

お申込・お問合せは、高浜市社会福祉協議会まで
電話：0566-54-5563 F A X：0566-52-4100 担当/岡本、諏訪

※生活支援員として活動していただく場合は、社会福祉協議会と雇用契約を締結していただきます。

広報紙「ふくし」
は財源の一部に赤
い羽根共同募金配
分金を受けて発行
しています。



編集
発行

社会福祉法人 高浜市社会福祉協議会

〒444-1334 愛知県高浜市春日町五丁目165番地
TEL：0566-52-2002 FAX：0566-52-4100
E-mail：info@takahama-shakyo.or.jp